



社会福祉法人 村 山 苑

# 村山苑だより



## 「新年を迎えて」

理事長 品川 卓正



新年あけましておめでとうござい  
ます。地域の皆様をはじめ、  
法人役員皆様方のおかげをもち  
まして、法人内各施設は無事新年  
を迎えることができました。改め  
て感謝申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態  
宣言の発令される中、予定通り東京オリンピックとパ  
ラリンピックが開催され、出場選手の健闘により、日本中  
がコロナ禍であることを忘れたかのように盛り上がりま  
した。改めて、スポーツの人に与える影響の大きさを教  
えられました。その後、コロナの感染拡大はワクチン接  
種が進むにつれ感染者が徐々に減少し、緊急事態宣言  
も解除され、日常生活に戻りつつあります。しかし、完  
全に収束したわけではありませんので、引き続き、基本  
的な感染防止対策は継続する必要があります。

昨年度から法人全体の中期計画の策定に取り組んで  
います。計画の策定の根拠は法人が経営する各施設の  
事業継続です。各施設に共通する課題として人材確保・  
育成・定着があり、救護施設には2年後に予定されて  
いる生活保護法改正、介護保険施設及び障害者施設に  
は今後の報酬改定があり、保育所には入園児の確保と、  
確保につながる保育内容の充実と保育の質の向上を図  
る必要があります。この課題を中期計画に落とし込み、  
安定した法人施設経営を目指したいと思えます。

特に、人材確保については、今後ますます厳しくな  
ることが予測されますので、現状の確保策を継続しつ  
つ、長期的な確保策として、小学校や中学校との交流  
をさらに進めて、先生や生徒に福祉の現場を理解して  
もらうことも考える必要があるのでは、と思っていま  
す。また、研修等の充実と職場環境の改善を具体的に  
計画し、育成・定着に結び付けたいと思えます。

そして、今年、経営施設の更なる発展と法人施設  
を取り巻く環境を見据えて策定した計画に基づいた法  
人施設経営を目指して努力するとともに、社会福祉法  
人の使命として地域公益活動への取り組みを更に進め  
ていきたいと思っております。

評議員就任のご挨拶

評議員

長島 文夫



明けてましておめでとうございます。

昨年六月評議員に就任しました長島と申します。新型コロナウイルス感染第六波が懸念される昨今ですが、徐々にはあります。が日常の中で以前の生活を取り戻しつつあるのではと感じています。

二〇〇〇年度にスタートした介護保険制度も二十年余りを経過し、徐々に生活の中に取り込まれ、変化しながらも私たち一人ひとりが自らがかけがえの無い人生を有意義に充実した時間となるようサービスの創造と提供がなされてきていると思っております。しかし、避けることのできない課題も生じています。

第一に財源の不安です。当初二〇〇〇年度一年間に約三兆六〇〇〇億円だった総費用額が二〇一九年度には一兆七〇〇〇億円とおよそ三、三倍に膨らんでいます。これは高齢化の進展や制度の浸透などありますが、看過できることではありません。国は介護予防の強化などを議論しているようですが、その実効性には不透明さがあります。

第二は介護人材確保の問題です。ハトホームでは一年ほど前からベトナムから二名の技能実習生の方を迎え入れ、マンパワーの確保と共に介護を通じての人づくりを力を入れております。国や都も質と量の両面から模索しているようですが、まずは介護現場に携わる方々の処遇改善と労働環境の整備が急務です。それにはまず実状に見合った介護報酬の改定がなされ、現場で奮闘されている方々へ適切に還元されなければなりません。

一朝一夕に解決されるものではありませんが、(社福)村山苑として公への働き掛けを含め一歩でも改善につなげるべく、新米評議員として努めていきたいと思っております。今後とも宜しくお願いいたします。

評議員

金田一弘明



令和三年の六月、青天の霹靂とも言うべきか、村山苑の評議員を仰せつ

かることになりました。根がそこっかしく気軽にOKサインを出したものの、その後は気の置き場に右往左往する毎日なのです。

きっかけは日頃からの地域との接点を模索し続けてきたことによる、村山苑からの積極的な声掛けがあったからです。地域自治会や自主防災組織の活

動には、隣接する大きな施設は、相互協力と言うよりは一方的に頼れるいざというときの心強い存在です。まさに向こう三軒両隣の関係で、気遣い合えのありがたい施設です。施設の診療所が地域にも開放され、医療の選択肢が増えたことはありがたいことです。

私は地域自主防災組織の隊長として、なにかとお世話になってまいりました。この度は少しでもそのお返しが出来ればという気持ちなのですが、結局のところはこれまで以上にお世話になることを期待してのOKのようです。

評議員になったことで施設のことをより深く理解できると期待し、また、地域の方々なことを伝えられるように心がけていきたいと思っております。

住みよい場所とは、公共交通や商店、病院などの生活環境が充実しているに越したことはないのですが、なによりも気遣い合える人たちがそこにいることが一番ではないでしょうか。そんな地域作りにも少しでも貢献できるよう努めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

評議員

澤原 洋子



昨年六月、社会福祉法人村山苑の評議員を委嘱されました澤原洋子と

申します。

厚生労働大臣より委嘱されました民生委員児童委員、東村山市長より老人相談員、社会福祉協議会の福祉協力員、東村山警察署より振り込め詐欺被害防止アドバイザーにも委嘱されております。民生委員児童委員は、乳幼児から高齢の方までの相談事や見守りとして動いておりますが、近ごろは個人情報という事で難しい面も多々あります。私達は守秘義務を守り、皆様のご相談などを関係機関に伝える役目を持ち、相手の心に寄り添いながら動いて居りますので安心してご相談ください。

私は今回、社会福祉協議会の富士見町福祉協力員会から評議員として出ております。民生委員児童委員は、社会福祉協議会の十三各町福祉協力員として共に活躍しており、福祉協力員制度を開始してから今年で四十五年になります。

富士見町の福祉協力員会では、長寿を共に祝う会を始め、ふじみお楽しみ会、各施設のお手伝い等の行事があり、中でもふれあいコンサートは、地域の方々に発表の場を設け、村山苑の方々にも毎年出演いただいておりますが、コロナ禍で二年間開催出来ませんでした。今年再開出来ましたら地域の皆様も是非ご観覧・ご出演お待ちしております。

就任挨拶にはなりませんですが、よろしくお願いいたします。



## 令和三年度 法人研修について

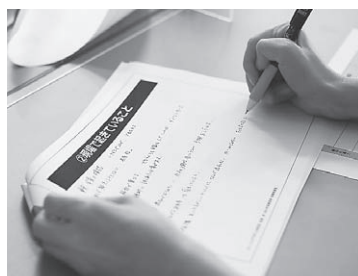
ハトホーム施設長 兼市 琢磨

令和三年度から、法人研修担当については、私とほんちよう保育園の右田施設長に変更になりました。前任の芦崎施設長は、研修担当を長く務められ、進行やお話しも上手であり、果たして後任が務まるか不安だらけの中、芦崎施設長、右田施設長のご協力もありコロナ禍の中、予定されていた研修の殆んどが、滞りなく終わる事が出来ました。

No	研修名	実施・予定日	参加人数	対象者
1	ステップアップ研修	7月 1日	14 名	障がい者雇用採用者(非常勤)
2	新任職員フォローアップ研修	9月30日	18 名	新任職員研修参加者
3	特定職種(看護師)研修	10月13日	7 名	各施設看護師
4	フォローフォロー研修	10月20日	17 名	勤続5年～10年の職員
5	テーマ別研修	11月 8日	21 名	各施設からの推薦者
6	特定職種(栄養士)研修	11月16日	7 名	各施設栄養士
7	福祉サービス研究研修(予定)	1月18日	—	各施設からの推薦者
8	新任職員研修(予定)	3月29、30日	—	令和3年度中途採用者、令和4年度採用予定者

一月に福祉サービス研究研修、三月に新任職員研修が予定されてますが、今年度無事に終われるよう進めていきたいと思っております。

今年度実施した研修、今後予定されている研修の内容を簡単に紹介したいと思います。



### 1. ステップアップ研修

『村山苑で長く働くために』をテーマとして、就労継続に繋がる一環として、現在悩んでいる事や将来の希望、他の人の取り組みを参考としながら、自由な意見交換の場として実施した。

### 2. 新任職員フォローアップ研修

『同期の繋がりを強めよう』をテーマに、村山苑に勤めて今思うこと、悩み、楽しかったこと、辛かったこと、将来の目標、趣味、マイブーム等自由な意見交換を行い同期としての絆が深まることを目的に実施した。

### 3. 特定職種(看護師)研修

昨年度、コロナウイルスの関係で実施出来なかった為、二年振りの開催となった。

昨年度嘱託医として着任された 別府先生との顔合わせやコロナウイルス等感染症状況、発症した場合の対応、麻疹等に関する新たなガイドラインの確認等を含め、意見交換を行った。

### 4. フォローフォロー研修

『人材確保と定着について』をテーマに、職場を辞めよう、或いは頑張っ続けてようと思った時の乗り越え方や決め手について、又、今後法人に望むことや期待することについて意見交換を行った。

### 5. テーマ別研修

最近、耳にするようになった『カスタマーハラメント』をテーマとして、外部から講師を招き、講義、グループワークを交え実施した。

### 6. 特定職種(栄養士研修)

看護師研修と同様、二年振りの開催となった。食品衛生法の改正に伴い『HACCP』に沿った衛生管理の取り組みや感染症等で厨房が使用出来なくなった場合の協力体制、その他自由意見も含め意見交換を行った。

### 7. 福祉サービス研究研修

コロナ禍の関係で、昨年度は中止となったが、今年度は昨年予定していた発表施設(五施設のみ)での縮小開催を予定。

### 8. 新任職員研修

村山苑の歴史、基本理念、法人の規程関係、社人としてのマナー、虐待防止等のお話しを中心に開催予定。通常は二日間での開催だが、昨年度はコロナ禍の影響で一日での開催であった。今年度に関しても状況を見ながら開催していく予定。



## 村山苑で 働くようになって

### ハトホーム

介護周辺業務 中澤 咲耶

#### ①仕事内容

ハトホームの介護周辺業務として働いています。介護職員の方たちが業務にスムーズに取り組めるよう、サポートする役割を担っています。職員が使う用具の準備や掃除、入居者の方の洗濯物の搬出や仕分け、寝具類の交換、ゴミ出し等、多岐にわたる業務に奔走しています。

#### ②ステップアップ研修の感想

毎年参加しているステップアップ研修ですが、同じような立場で参加する人が、年々増えているので、心強く思います。今回のステップアップ研修では、他施設の障害者雇用の方たちの仕事内容をいつも以上に詳しく知る事ができたので、新鮮でした。また、自分の仕事の内容を他の人に伝えたり、それに対する意見をもらったりした事で、自分の役割を再確認できる良い機会となりました。



## ふじみ保育園

用務員 Y・M

#### ①仕事内容

窓拭き、外掃除、取っ手消毒、玩具消毒、洗濯、アイロンかけ、縫い物、絵本修理、落ち葉掃きなど…。全ての仕事を、"保育環境を整えている"という意識で、毎日行っている"という意識で、毎日行っている"と意識して、落ち葉は子どもたちにとって"大切なあそびのものと"と考え、園庭が雑然と荒れない、程よい具合で掃いてくれます。一歳児クラスの食事の配膳、布団敷きの時、子どもたちが傍に来て、お散歩に行った話をしたり、上手にズボン履けたのを見せに来ると、目線を合わせてやさしく言葉を返し、"自分が子どもたちにとって環境の一つであるとし、まさに、『保育を心に置いた用務員さん』として働いてくれています。

何より、仕事に取り組む姿、自身を振り返り次に繋げる姿勢、"子どもにとつて"を一番に思い仕事をする姿は、職員が見習うべきことが多く、ふじみの子どもたち、大人にとつて、なくてはならない存在です。

#### ②ステップアップ研修の感想

私は保育園で仕事をしています。午前中は、子どもたちがお散歩に行っている間に、お部屋の窓拭き、お庭のお掃除をしています。また、一歳



児クラスの給食の準備やお昼寝のお布団敷きをしています。午後は、洗濯が主な仕事です。通りかかった先生が、「きれいな空だね!」と言って感動を分かち合えば、子どもたちにも、この空の青さを感じられるように、と窓を拭きます。

お庭の手入れをしていると、『なにしているの?』と見に来た子どもたちと、「二十日大根の芽が出ていますよ!」と小さな生命と一緒に眺めては、その可愛さを感じます。

ステップアップ研修では、施設ごとに、事務や清掃、洗濯物の仕分け、配膳業務などのお仕事をされている方のお話を聞くことが出来ました。

新しい仕事を任されてやりがい繋げている方、清掃の仕上がりに具合を職員の方と確認している方など、皆さん目標と責任感を持って、お仕事をされているなあと感じました。

私も、子どもたちが経験している事を大切にして、保育の職場にいることに責任を持って仕事をしていきたいと思いました。

## 村山荘

岡野 翔太

#### ①仕事内容

衛生管理と物品の補充が主な仕事だが、力仕事なら何でもこなすパワフルな好青年。彼のモットーは、「みんながいつも気持ちよく使ってもらえるようにトイレ、洗面所、浴室等を清掃している」そうです。また、コロナ禍で感染対策の一環で食堂他各所の消毒も一日二回おこなってらっています。利用者からも感謝の言葉をもらい仕事の励みになっているようです。

#### ②ステップアップ研修の感想

村山苑で長く働くため、自己目標は「今の仕事に満足しない」ことです。掃除の後で、利用者さんや職員さんから「ありがとう」「きれいななったね」と声を掛けてもらえることが、とても嬉しく、やりがいがあります。今の目標の達成度はまだ足りず、体力をつけて長く働けるようにしたいです。





## 施設通信

### つぼみ保育園

#### 『いつもと違う運動会』

保育士 田中 未来

十月十六日(出)に幼児クラスが運動会を行いました。話し合いを重ね、そしてクラスごとに入れ替え・観覧席を決めてお家の方に来てもらいました。三歳児のまつぼっくり組の競技時間は三十分、子どもたちの大好きなことを「全部やっちゃえ」で、子どもたちの好きなことを詰め込んだ内容にしました。

その中で夏から始めた大縄の『雨だれくぐり』は、コツを掴みすぐに行きやすい子、自信がなくてなかなかくぐれない子と姿は色々でしたが、子ども達自身が自分で出来るようにと毎日練習しました。大人が見守る中、少しずつ出来るようになり、自信とやる気に繋がって子ども達からも「ヤリタイ」と言うようになって行きました。そんな中、上手くコツを掴めない子がいました。練習の度に不安そうに大人を見ていたので、少しだけ勇気が出せればと思いをかけようとしたその日。いつものように不安そうに縄を見ていたので

が、次の瞬間しっかりと縄の動きを見て走り出し、自分で出来たのです。出来た時は、本人も大人も驚き「デキタ!!」と。その姿は、とても嬉しそうで自信に満ちていました。そんなこんなで運動会前には、ほぼ全員が『雨だれくぐり』をくぐるようになりしました。

今回ご紹介したクラスは、三歳児でしたが四歳児、五歳児の子ども達も日々、積み重ねた成果を發揮できたとと思います。二年ぶりに運動会を開催し、当日は練習以上に素敵な姿を見せていた子ども達でした。

### ふじみ保育園

#### 『くすのき組お泊り保育』

保育士 才原美智子  
保育士 細岡 沙羅

ふじみ保育園では、一つひとつの活動を子どもたちと相談しながら決めていきます。年長クラスが進級し、「くすのきでやりたいこと」を話し合った時に真っ先に出てきたのが、「お泊り保育」。くすのきの子どもたちにとつて、憧れの一大イベントです。自分たちで、やりたいことを話し合い、スケジュールを決め、一つひとつ準備を進めていきました。毎日、カレンダーを見ながら、折り数え、楽しみにして迎えた当日。

行き帰りは、貸切大型バスに乗り込み、あきる野市にある、養沢センターに行ってきました。自然豊かな環境の中、のびのびと過ごした子どもたち。特に、川でのマス掴みはここでしか出来ない経験となりました。自分たちで掴まえたマスのからあげを夕飯で食べ、「命を頂く大切さ」を感じた子どもたち。頭から骨までしっかり食べられる子どもたち。さんいしました。



今回、新型コロナウイルス流行により、一時、延期となったお泊り保育。実施するにあたり、子どもたちの想いを一番に考えながら、全職員が一つの方向に向かって話し合いを重ね、実現出来たことは、ふじみ保育園の強みだと思います。子どもたちのイキイキとした誇らしげな顔、経験を通して成長していく姿は、お泊りならではの。これからも大切にしていきたい姿です。

ほんちよう保育園

『コロナ禍での保育について』

主任保育士 幸田千香子

七月、東京都の新型コロナウイルスの感染者数が三千人を超え、八月には一日の感染者が五〇〇〇人を超える日もあり心配な状況ではありましたが「運動会をあきらめるのではなくどうしたら行うことができるのか？」の話し合いから始まりました。場所は例年隣の公園をお借りしますが、感染拡大の状況下での近隣の方のご心配もあるかと、今年度は「園庭」とし、幼児のみで三クラスの時間をずらしての入れ替え制、保護者の席は昨年同様に子どもがくじ引きで決めた指定席、観に来ていただく方は健康観察期間を設け、当日「運動会参加者健康調査票」を提出していただくことにしました。そして緊急事態宣言が二週間程度毎で延長されていたため、予備日は二週間程度の間隔を開けた土曜日に設定することになりました。

子どもたちは自分の目標に向かって、友だちに刺激を受け、応援してもらおう中「やる！頑張る！」という気持ちで挑戦しお家の人にも「見てもらいたい！」という気持ちが膨らみ本番での表情は皆、大満足で笑顔が輝いていました。短い時間ではありましたが、自分の子どもや同じ



クラスの子もたちの姿を観ていただくことができ「観ることができてよかった！」という声も多数聞かれました。当日までの健康調査、消毒、指定席、速やかなクラスの入替えなど保護者の皆さんのご協力を頂き、開催することが出来てよかったと改めて感じました。

ひよし保育園

『コロナ禍で見たもの』

主任保育士 寺島 由美

コロナ禍で、子どもたちの生活は何をしなかったか？と問われれば変わらぬに行ってきたと言えませんが、やはり行事の形を変えなくてはならないこともありました。人数制限であつたり時間短縮であつたり：それでも子どもたちが楽しめることをやろうと一つ一つ話合ってきました。例年通り行えることが最善

と考えていたので、このようなことが起こる事がなかったら今行っているような行事の形を発想できたか？という自信はありません。一つ一つ行事を終えることに保護者の皆様にはご意見をお聞きしていますが「この形が良かった」とお話し頂くことも多く、長年保育園が良いと考えるものが全てではないのかと知ることもできました。コロナ禍でなければわからなかったことに気づき、苦しい決断や不安な日々の中で前へ前へと進んできた結果「苦境の中から出



てくるポジティブな考え」なのではないかと思っています。もう、できないと考えずどうやったらできるのか。今！の最善を考えることは、逆に本当に大丈夫なのか？これでもいいのか？という不安が大きくなるのは事実です。それでもポジティブな考えを次々と出し合い、行事を進めた時子どもたちの笑顔をみると、やつて良かった！と思う繰り返しでした。これからも、職員そして保護者の皆様と共になんか状況になろうとも子どもたちの笑顔を絶やさない保育園でありたいと思います。



ハトホーム

『旧厨房の跡地』

事務員 北村 貴則

第2ハトホームの改築に伴い、新しい厨房が始動し調理が開始されました。

真新しい設備による調理と温冷配膳車による適温提供。『給食開化!』を果したハトホームのお食事は、入居者の皆様にもご好評をいただいています。

ハトホーム北館創設以来、ずっと稼働してきた厨房スペース。その役目を終えた今、有効活用の名のもとに、再び化粧を整え、新たな使命を帯びた大容量の保管スペースとして生まれ変わりを果たしました。

令和元年九月に二施設化して以来、まとまった収納スペースが少なく、物の保管場所のやりくりに困る事が多かったハトホームに、待ちに待った『倉庫開花!』がもたらされました。今後は、よりこのスペースを有効活用しながら、より働きやすく、より居心地の良い施設にしていこうと思っています。



第2ハトホーム

『これからも感謝していただけるサービスを』

施設長 岡野 雅和

先日ご逝去された入居者様のご家族から、次のようなお話がありました。

「担当してくださった相談員さんや介護職員さんはいつも明るく笑顔で、家族としては本当に良くしてもらっているんだと感じることができました。家族で面倒が見られず申し訳ないという気持ちも職員さんのおかげで救われました。私も職員さんから影響を受け、介護福祉士の資格取得に向け勉強中です。皆さんの姿を見て自分もやってみたいと思いました」とのお話でした。

深刻な介護人材不足の中で自分の仕事に誇りと使命感を持ち「介護」の仕事に従事している職員にとっては、この上ない有難いお話でした。これからも入居者様やご家族に安心していただける施設となるよう職員一同努力してまいります。



ほんちようケアセンター

『大規模災害を見据えて』

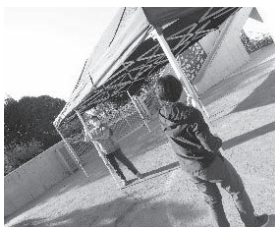
訪問介護事業管理者 岡本 友子

有事に備え、ほんちよう保育園・ほんちようケアセンターでは、毎年合同で大規模災害に備えた初動訓練と炊き出し訓練を実施しています。

今年度も「災害が起きた時に、どう動くべきか」を皆で確認し少しでも安全に寄与できるよう園児と利用者とともに訓練を行いました。

十七日の炊き出し訓練では秋空の下、感染予防に努めながらも、園庭で保育園の職員とともに薪を割り、かまどでお湯を沸かし、テントを張り、発電機の作動の確認をしました。去年の気づきを踏まえ、倉庫の鍵の管理などもわかりやすく、スムーズにできたいと思います。職員同士の交流の場にもなり、充実した訓練となりました。

ほんちようケアセンターは東村山市と福祉避難所の協定を結んでいいますので、有事に慌てることのないよう日頃から備品の整備等も含め備えています。

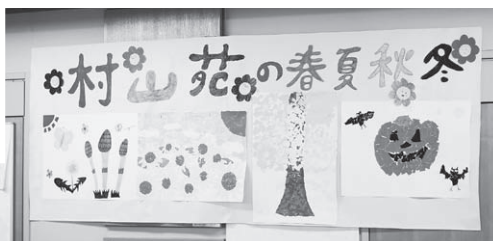


高校生ボランティア活動の受け入れ

東京都立東村山西高等学校一年生によるボランティア活動の受け入れを今年も行いました。

その活動の中で高校生の皆さんが制作された作品をフロアーに掲示しています。

入居者の皆さん、大変喜ばれています。どうもありがとうございました。来年もよろしくお願ひ致します。



## 寄附について

左記期間において、御寄附頂いた皆様をご紹介致します。  
ご支援ご協力頂き、心から感謝申し上げます。(敬称略)

■令和二年四月一日～  
令和三年三月三十一日

相原 弘子  
植田 哲  
植田 悦子  
植田 夏風  
聖心女子学院 中高もゆる会  
手塚 真一  
長谷川 和正  
畠山 千春  
ふじみ保育園保護者会  
ほんちよう保育園 保護者の会  
明治学院中学校・  
明治学院東村山高等学校  
有限会社スギモト米店

(五十音順)



## 新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。  
旧年中は格別のご高配を賜りまして、誠にありがとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。

村山苑一同



## 【表彰状受賞者】

次の方々が表彰されました。おめでとうございます。  
益々の活躍を期待しております。

○令和3年度東京都社会福祉協議会  
会長感謝(永年勤続功労)

村山荘 援助主任 小沼 洋一  
ハトホーム  
主任介護職員 朝倉 紀美子  
主任介護職員 伊藤 貴広

○令和3年度全国社会福祉協議会  
会長表彰

村山荘 援助副主任 鈴木 千絵

## 村山苑が経営している施設

- 〒189-0024 東京都東村山市富士見町2-7-5  
● 法人本部 ☎ 042-393-8496
- むらやまえん 生活相談所 ☎ 042-313-0301
- 村山荘(救護施設) ☎ 042-391-1262
- ハトホーム(特別養護老人ホーム) ☎ 042-393-7574
- 第2ハトホーム(特別養護老人ホーム) ☎ 042-306-2320
- 福祉事業センター(障害福祉サービス事業) ☎ 042-395-3636
- ふじみ保育園(保育所) ☎ 042-394-9936
- 〒189-0024 東京都東村山市富士見町2-8-2  
● さつき荘(救護施設) ☎ 042-396-2244
- 〒189-0024 東京都東村山市富士見町2-2-2  
● つばみ保育園(保育所) ☎ 042-393-6400
- 〒189-0014 東京都東村山市本町3-43-1  
● ほんちよう保育園(保育所) ☎ 042-399-2100
- ほんちようケアセンター(高齢者施設) ☎ 042-399-2102
- 〒189-0003 東京都国分寺市戸倉2-27-6  
● ひよし保育園(保育所) ☎ 042-843-0202

## ▲あとかき▼

明けましておめでとうございます。  
いよいよ新しい年がスタートしました。  
2022年の干支である寅年は多くのチャンスがある年だそうです。明確な目標を立てて行動すれば必ずと結果はついてくるので、具体的に計画し、目標を設定することが大事であるとか。先日の研修で、「目的のために目標を達成する」ことを学びました。目標達成を通じて、何をしたいのかを明確にしておくことが大事であり、そのためには自身の成長目標と成長のステップを見定めておく必要があるとのこと。社会福祉の現場で働く一員として、更なる成長の為、福祉の原点に立ち返り、心を新たに頑張りたいと思います。  
皆さまにとりましても良い年となりますよう、ご祈念申し上げます。  
(Y・S)

## ―表紙の写真―

提供者 幸田 千香子

本誌は本人同意のもとに写真・作品等を掲載しております。

\* \* \*  
ご意見・ご感想等お気付きの点がございましたら、左記へお寄せ下さい。

令和四年一月一日 発行  
東京都東村山市富士見町二七一五  
社会福祉法人 村山 苑  
発行者 品川 卓正  
印刷所 東京都同胞援護会事業局  
東京都墨田区両国四一―八